

福みえ 社え

伝える
つながる
ひびきあう

4・5

2022 April&May

No.371



鈴鹿グリーンホーム様より、春を感じられる素敵な作品のお写真をいただきました。

もくじ

- 特集：令和4年度 三重県社会福祉協議会事業計画・予算 ……2
- 三重県社会福祉協議会新任職員紹介 ……5
- 令和3年度 赤い羽根共同募金運動実績及び配分のご報告 ……6
- 令和4年度 共同募金配分申請を受付けています ……8



ふれあいネットワーク

特集

令和4年度 三重県社会福祉協議会事業計画・予算

基本的な考え方

● 本会では、令和2年3月に、地域福祉活動支援計画・強化発展計画として策定した『新ウエルビーイングみえプラン（第1期計画）』に基づき事業を計画しています。

● 『新ウエルビーイングみえプラン』では、「認め合い 包み込み 共に生きる地域社会をめざして」という基本理念を掲げ、その実現に向けて3つの基本目標を設けています。

● 令和4年度においては、3つの基本目標に沿って、地域福祉を取り巻く状況や国・県等の動向などを踏まえ、県社協が重点的に取り組む事業を以下のとおり整理しています。

● また、各事業の実施に際しては、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に引き続き取り組むとともに、新型コロナウイルスの感染状況によっては、事業実施の内容や手法を変更するなど弾力的に対応していきます。

重点事業

基本目標① 地域共生の基盤づくり

① 共に生きる地域社会づくりの推進役としての市町社協の機能強化

● 地域におけるフォーマル・インフォーマルな社会資源が有機的に連携できる体制や、多様な生活課題に対応する相談支援体制を各地域で構築できるよう、令和2年度から実施している相談支援包括化推進員等養成事業等を通して市町社協職員や市町行政職員の資質向上に取り組めます。

● また、地域での人と人のつながりが希薄になっていく中で、誰もが安心して暮らせる地域をつくるための福祉教育の重要性はますます高まっています。昨年度には、福祉教育セミナーにおいて教育機関の実践事例を学びました。今年度は、福祉教育の今後のあり方について議論の場を設け、他機関との連携を模索します。

② 生活困窮世帯への相談支援の充実強化

● 生活福祉資金貸付事業については、新型コロナウイルスの影響により、減収した世帯への特例貸付により、令和2年度以降貸付件数が大幅に増加しました。今後は、特例貸付の償還免除を含めた債権管理や相談支援体制の充実が急務です。

● 令和3年度に、県において、都道府県レベルでは初の「三重県ひきこもり支援推進計画」が策定されました。「三重県生活相談支援センター」では、ひきこもり状態にある方の支援を行う「アウトリーチ支援員」を1名から2名に増員し、ひきこもり支援の強化を図ります。

基本目標② 持続可能な社会福祉の仕組みづくり

① 多様な人材の福祉分野への参入促進
およびマッチング強化

● 福祉を支える人材の確保は大きな課題であり、新卒者のみならず、シニア世代、子育て世代の女性、潜在有資格者、外国人など多様な人材の参入促進が求められています。「介護未経験者を対象とした入門的研修」や就職氷河期世代を対象とした「介護職員初任者研修」

などを通じて裾野の拡大を図るとともに、介護助手普及推進員の配置など福祉の現場とのマッチングを強化します。

② 福祉サービスの質の向上のための多様な研修機会の提供

● 質の高い福祉サービスが持続的に提供されるためには、研修の実施を通じて福祉人材の定着支援・育成に取り組むことも重要です。本会ではテーマ別や階層別などの様々な研修を実施していますが、新型コロナウイルスの影響により、グループワークを伴う集合型の研修実施が困難となっています。今後は、オンライン研修の開催方法等を工夫することで、より多くの方が参加できる研修機会の提供に取り組めます。

基本目標③ 災害時に備えた支援活動の充実

① 三重県災害派遣福祉チーム（三重県DWAAT）および三重県広域受援計画（第5章 高齢者や障がい者等を支援する職員（介護職員等）の受入れに関する計画）の体制整備

- 令和元年度に締結した協定に基づき、具体的な活動に取り組みることができる体制整備が求められています。令和2年度から実施している研修を継続し、新たな登録員を増やししながら、登録員の資質向上にも継続的に取り組みます。
- ② **市町災害ボランティアセンターの広域連携体制の構築・強化**
災害時に被災地では、市町社協を中心に災害ボランティアセンターが設置・運営されますが、被災の規模に応じて多団体や近隣社協との連携が行われています。昨年度には県内6ブロックごとに近隣市町社協間の連携体制の構築を目指し、研修や訓練に取り組みました。今年度は、この連携体制をより強固にすることを目指します。
- なお、県社協の事業（活動）の展開に当たっては、国・県等の施策との連携、社協・福祉関係団体等との連携強化を一層図りながら、取り組んでいきます。特に、令和元年度に県が策定した「三重県地域福祉支援計画」との連携により、着実に計画を推進していきます。
- また、県社協の運営については、「新ウェルビーイングみえプラン」に記載した「県社協の経営基盤の強化」に沿って、組織体制の強化や福祉のプラットフォームの構築に向けた取組を進めます。

事業計画

基本目標 ① 地域共生の基盤づくり

推進項目 ① 支え合う地域づくりの支援

市町社協の機能強化の推進、小地域福祉活動支援の強化、福祉教育の支援、共同募金との連携強化、子どもの居場所支援事業 等

推進項目 ② 多様な主体との協働

民生委員・児童委員の活動支援と連携強化、種別協議会との連携・協働の推進、社会福祉法人の公益的な取組の促進、ボランティアアクションを支える仕組みづくり、当事者活動の支援強化 等

推進項目 ③ 総合的な相談支援機能の強化

市町社協における権利擁護活動の支援、成年後見制度の利用促進による権利擁護活動の支援、生活困窮者の自立支援、生活福祉資金・臨時特例つなぎ資金等貸付事業の推進 等

基本目標 ② 持続可能な社会福祉の仕組みづくり

推進項目 ① 福祉人材の確保・就労支援

三重県福祉人材センター機能の充実・強化、多様な人材の福祉分野への参入促進、福祉分野の魅力発信と就労支援、三重県保育士・保育所支援センターの充実・機能強化 等

推進項目 ② 福祉人材の定着支援と育成

福祉事業所との連携・支援の強化、福祉人材のキャリアアップ支援、福祉人材の専門性の向上、介護支援専門員試験・研修センターの機能強化 等

推進項目 ③ 質の高い福祉サービスに向けた支援

社会福祉事業の経営支援の強化、福祉サービスにかかる苦情解決体制の整備、福祉サービスの評価活動の推進 等

基本目標 ③ 災害時に備えた支援活動の充実

推進項目 ① 災害時に備えたネットワークの構築・基盤強化

三重県 DWAT の体制整備、三重県広域受援計画（第5章 高齢者や障がい者等を支援する職員（介護職員等）の受入れに関する計画）の体制整備、全社協、東海北陸ブロック県・指定都市社協や県内市町社協との連携・協力、災害時のボランティア活動支援、市町社協や福祉施設・事業所における災害対応強化の支援 等

県社協の経営基盤の強化

推進項目 ① 組織体制の強化

組織体制の強化、事務局体制の強化、財務規律の強化 等

推進項目 ② 福祉のプラットフォームの構築

広報の充実・強化、福祉の連携・協働の拠点としての環境整備、シンクタンク機能の強化、三重県とのパートナーシップの強化 等

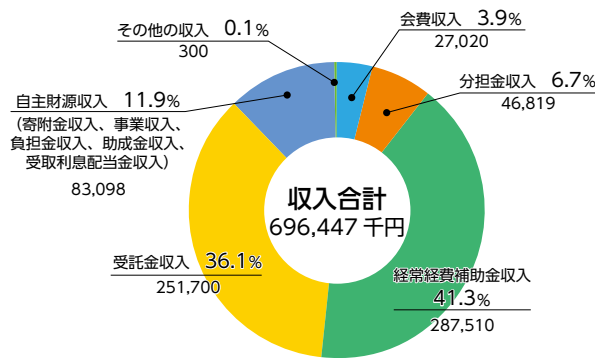
令和4年度 収支予算の概要

本会の事業活動による収支を事業区分別に示すと下表の通りであり、収入・支出の主な内訳はグラフの通りとなっています。

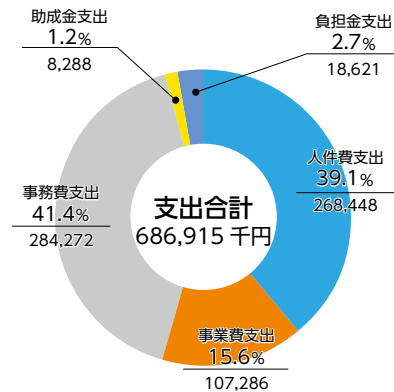
(単位：千円)

事業区分	事業活動収入			事業活動支出			収支差額		
	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減
社会福祉事業	636,874	577,692	79,182	628,196	555,713	72,483	8,678	1,979	6,699
公益事業 (貸付除く)	62,203	76,375	△14,172	265,238	205,139	60,099	△203,035	△128,764	△74,271
収益事業	55,573	62,073	△6,500	54,895	57,214	△2,319	678	4,859	△4,181
計	4,000	3,684	316	3,824	2,552	1,272	176	1,132	△956
計	703,077	637,751	65,326	897,258	763,404	133,854	△194,181	△125,653	△68,528
(貸付除く)	696,447	643,449	72,998	686,915	615,479	71,436	9,532	7,970	1,562

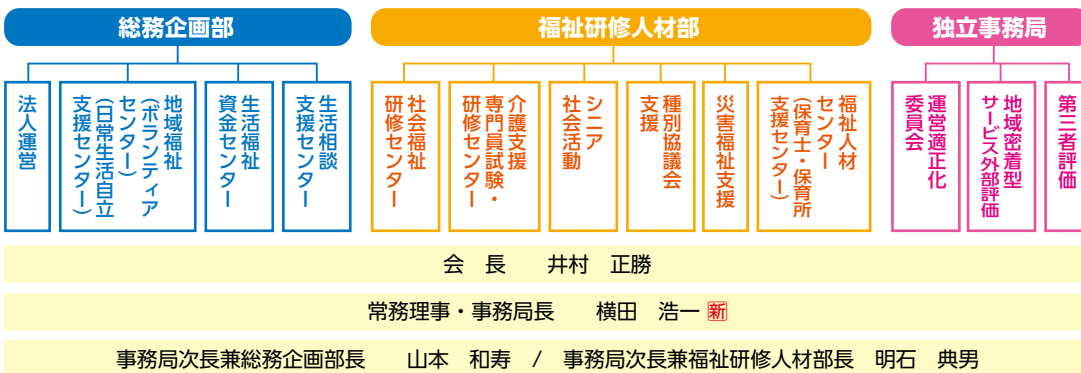
令和4年度一般会計収入（貸付事業除く）



令和4年度一般会計支出（貸付事業除く）



三重県社会福祉協議会 事務局体制と主な業務の所管 (順不同 令和4年4月1日現在)



総務企画部	
総務課	地域福祉課
課長 山口 訓広	課長 山崎 和彦
主事 島 郁絵	副参事兼 副課長補佐 佐藤 克哉
嘱託 佐野 瞳	地域福祉・市町村協
嘱託 田中 亜依	主任 秋葉 勇弥
業務補助 加藤 龍知	主事 新 松野 朱里
生活福祉資金課 (セター)	ボランティアセンター
課長 (セター長) 日向 智信	副参事兼 課長補佐 (セター長) 佐藤 克哉
専門員 平井 貴子	主事 藤崎 雄彰
主事 天野 綾佳	日常生活自立支援センター
主事 藤崎 雄彰	課長 (兼) セター長 山本 和寿
主事 橋本 允聖	主事 谷岡佑一郎
主事 新 諏訪 愛実	主事 古郡 健太
嘱託 北出真由美	民生委員児童委員
嘱託 栗谷 真子	課長 (兼) 山崎 和彦
嘱託 小宮 友亜	生活相談支援課 (セター)
嘱託 梶田 徳幸	副部長課長 (兼) 小海 途誠也 (セター長)
嘱託 森 智	嘱託 福田 政嗣
	嘱託 川崎 秀一
	嘱託 田中 智志
	嘱託 倉本 浩文
	嘱託 猪俣 宣則
	嘱託 小笠原 泰司

福祉研修人材部	
福祉育成支援課	福祉人材課 (センター)
課長 加藤 千弘	課長 (セター長) 富田 真実子
社会福祉研修センター	人材確保・定着支援グループ
課長 (セター長) 加藤 千弘	主任 小倉 諒也
主事 向井 雄方	専門員 前川 みるみ
主事 濱口 みき乃	専門員 山地 雅子
主事 榮田 真子	専門員 井深 麻裕
嘱託 仁田 早苗	専門員 太田 育子
嘱託 山崎 汐梨	専門員 中西 由美子
シニア社会活動・種別協議会支援	嘱託 坂本 由美
主事 松本 瑞季	嘱託 北村 かおり
嘱託 小谷 晴美	嘱託 矢田 幸洋
嘱託 岩崎 紀子	保育士・保育所支援センター
業務補助 坂野 美樹	課長 (セター長) 富田 真実子
災害福祉支援	嘱託 佐藤 安紀
主任 片山 誠一	嘱託 西村 友美
	人材育成グループ
	主任 濱田 康太
	嘱託 荒木 裕恵
	嘱託 東海 友紀
	嘱託 中西 由起子
	嘱託 和田 愛子
	嘱託 森 智重美
	嘱託 大熊 亜紀子

独立事務局	
運営適正化委員会	地域密着型外部評価
事務局長 稲木 和彦	部長 (兼) 山本 和寿
	課長 (兼) 山崎 和彦
	嘱託 坂口 豊子
	第三者評価
課長 (兼) 総務 山口 訓広	課長 (兼) 山崎 和彦
課長 (兼) 日向 智信	課長 (兼) 富田 真実子
課長 (兼) 佐藤 克哉	課長 (兼) 加藤 千弘
主任 (兼) 小倉 諒也	課長補佐 (兼) 佐藤 克哉
主任 (兼) 濱田 康太	主任 (兼) 小倉 諒也
主任 (兼) 片山 誠一	主任 (兼) 秋葉 勇弥
主任 (兼) 島 郁絵	

三重県共同募金会	
三重県社会福祉事業職員共済会	
事務局長 田畑 知治	
課長 坂口 ゆり	
主事 森 拓真	
主事 田中 真莉奈	
主事 新 賀田 馨介	
共同募金会	
嘱託 小西 伊津美	
共済会	
嘱託 鈴木 香奈子	
嘱託 鈴木 洋子	

三重ボランティア基金	
事務局長 (兼) 山本 和寿	
次長 (兼) 山崎 和彦	
書記 (兼) 秋葉 勇弥	
書記 小林 由香里	

(新任)

三重県社会福祉協議会 新任職員紹介

今年から新たに三重県社協の一員となった新進気鋭の仲間たちを紹介します!!



福祉研修人材部 介護支援専門員試験・研修課

あぼう けんたろう
安保 健太郎

今年度より、三重県社会福祉協議会に入職いたしました安保と申します。介護支援専門員試験・研修課で主に試験、研修関係の業務を担当させていただくことになりました。日々の業務を1日でも早く覚え、職場、そして地域の方々のお役に立てるように精一杯努めて参ります。よろしくお願いいたします。



総務企画部 地域福祉課

まつの あかり
松野 朱里

はじめまして、今年度より三重県社会福祉協議会に入職いたしました松野と申します。地域福祉課で業務を担当させていただくことになりました。まだまだ分からないことが多いですが、生まれ育った地元三重の福祉に関わることができ、とても嬉しいです。皆様のお役に立てるよう、一生懸命頑張っていきます。よろしくお願いいたします。



総務企画部 生活福祉資金課

すわ まなみ
諏訪 愛実

今年度より三重県社会福祉協議会に入職いたしました諏訪と申します。生活福祉資金課に配属されることとなり、主に教育・福祉資金の業務を担当させていただくことになりました。まだ慣れないことも多く、先輩方から教えていただくことも沢山ありますが、一日でも早く吸収し、職場や地元である三重の方々のお役に立てるよう精一杯努めます。何卒よろしくお願いいたします。



三重県共同募金会

みのだ きょうすけ
箕田 響介

今年度より三重県社会福祉協議会に入職しました箕田です。三重県共同募金会・三重県社会福祉事業職員共済会に配属になり、業務をすることになりました。大好きな三重県に貢献できる仕事ができとても嬉しいです。少しでも早く地域の方々のお役に立てるように一生懸命努力しますのでよろしくお願いいたします。





令和3年度
赤い羽根共同募金運動実績及び配分のご報告

令和3年10月1日から令和4年3月31日まで、県内各地で赤い羽根共同募金運動を実施しました。

新型コロナウイルス禍の中で、県民の皆さまを始め各種団体など多くの方々のご協力、ご支援を頂きましたこと厚くお礼申し上げます。

お寄せいただいた募金額は、2億7千4百万円余で、昨年度実績額よりも約1千万円余の減少となりました。

この募金は、県内の社会福祉協議会、社会福祉関係団体、ボランティア団体、NPO等に配分され、令和4年度の地域福祉活動事業や施設利用者のための設備等の充実に活用されます。また、募金の一部は災害等に備えるため、災害等準備金として積み立てられます。

今後とも赤い羽根共同募金運動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

● 募金目標額と実績額について

(単位：円)

		目標額	実績額	前年度実績
令和3年度共同募金		290,000,000	274,908,451	285,182,280
内訳	一般募金	250,929,055	241,946,987	247,170,777
	地域課題解決型募金	3,000,000	135,000	5,000
	地域歳末たすけあい募金	21,446,000	20,209,206	25,273,549
	NHK等歳末たすけあい義援金	14,624,945	12,617,258	12,732,954

● 配分（助成）額

(単位：円)

	施設・団体		社会福祉協議会		合計	
	件数	配分額	件数	地域配分額		
一般募金	広域配分	13	4,453,000	1	5,441,000	9,894,000
	地域配分	1	248,000	29	211,104,648	211,352,648
地域歳末たすけあい募金			14	20,209,206	20,209,206	
NHK等報道機関歳末たすけあい義援金		12,994,000			12,994,000	
合計					254,449,854	

(注) 配分額には、募金額以外に災害等準備金取崩額と過年度配戻入金が含まれます。

一般募金・地域歳末募金の配分先の詳細は、HPに掲載しています。

● NHK 等報道機関歳末たすけあい義援金の内訳

(単位：円)

配分先		配分額 (円)
テーマ事業	ソフト事業	-
	福祉車両及び備品購入事業	3 団体 5,500,000
児童福祉施設	重点配分	5 施設 1,194,000
児童養護施設	卒業祝金 (自立する児童)	22 名分 660,000
	自立支援金	22 名分 2,200,000
母子生活支援施設	小中学校入学支援金	14 名分 420,000
里子	支援金	151 名分 3,020,000
合計		12,994,000

● 災害等準備金積立と経費

(単位：円)

令和3年度災害等準備金積立 (募金実績の3%)	8,240,000
次年度配分引当金	4,100,000
共同募金運動経費	37,000,001
合計	49,340,001



令和4年度共同募金配分申請を受付けています

(令和5年度事業充当)

募集期間 ※当日消印有効

令和4年5月1日(日)～5月31日(火)



対象・団体

- 社会福祉法第2条第2項および第3項(第13号を除く)に規定する社会福祉事業を行う法人
- 更生保護事業法第2条第1項に規定する更生保護事業を行う法人
- 特定非営利活動法人及びボランティア団体
- 県社会福祉協議会、市町社会福祉協議会
- その他、三重県共同募金会が特に必要と認めた団体

申請区分	配分限度額	配分対象	受付
広域福祉活動支援事業	50万円	広域団体	三重県共同募金会
先進的モデル事業	50万円	広域団体	三重県共同募金会
社会福祉施設等整備事業	通常…工事50万円 備品30万円 災害復旧…建物整備100万円 備品整備50万円	広域団体	三重県共同募金会
		地域団体	市町共同募金委員会
地域福祉活動支援事業	30万円	地域団体	市町共同募金委員会

申請書の提出について

申請書様式については、三重県共同募金会ホームページからダウンロードし、ご記入のうえ提出してください。

令和4年度 三重県共同募金会 助成団体募集計画

助成種類	募集時期	対象団体	事業・活動
つながりをたやさない社会づくり ～あなたは一人じゃない～ 活動助成	4月21日 ～6月30日	会則があり予算及び決算が明確な 県内の団体	新型コロナウイルス感染症の影響 下にあり、困難を抱える人を対象 にした事業
公益財団法人 中央競馬馬主 社会福祉財団	5月1日 ～5月31日	社会福祉法人、社会福祉事業を 行っているNPO法人、公益財団 法人、公益社団法人等	施設の拡充または改築、備品の 購入、車両の購入等
公益財団法人 車両競技公益 資金記念財団	年2回 (6月、3月)	完成後15年以上経過した保育所	保育所の補修
NHK 歳末たすけあい義援金	9月1日 ～10月7日	地域福祉に取り組むボランティ ア団体、NPO、更生保護団体等、 民間の社会福祉、更生保護事業を 経営する非営利法人	身体障害者(児)、知的障害者(児)、 支援を必要とする高齢者等に関す る事業、中央共同募金会の全国テ ーマ及び「災害」に関する事業
地域課題解決型募金	9月1日 ～10月7日	活動実績が1年以上ある県内の 非営利団体	子育て支援、障がい者の生活支援、 地域から孤立をなくす活動等、地域 の福祉課題を解決するための活動

申請書の提出について

申請書様式については、三重県共同募金会ホームページからダウンロードし、ご記入のうえ提出してください。

お問い合わせ先

社会福祉法人 三重県共同募金会

〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目131(三重県社会福祉会館内)

TEL: 059(226)2605 FAX: 059(221)0044

E-mail: miekyoubo@miewel.or.jp URL: https://mie-akaihane.or.jp/



発行人/井村 正勝

編集人/横田 浩一・広報委員会

発行所/社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目131

TEL: 059-227-5145 FAX: 059-227-6618

URL: https://www.miewel-1.com/ E-mail: info@miewel.or.jp

編集協力/株式会社アイリック